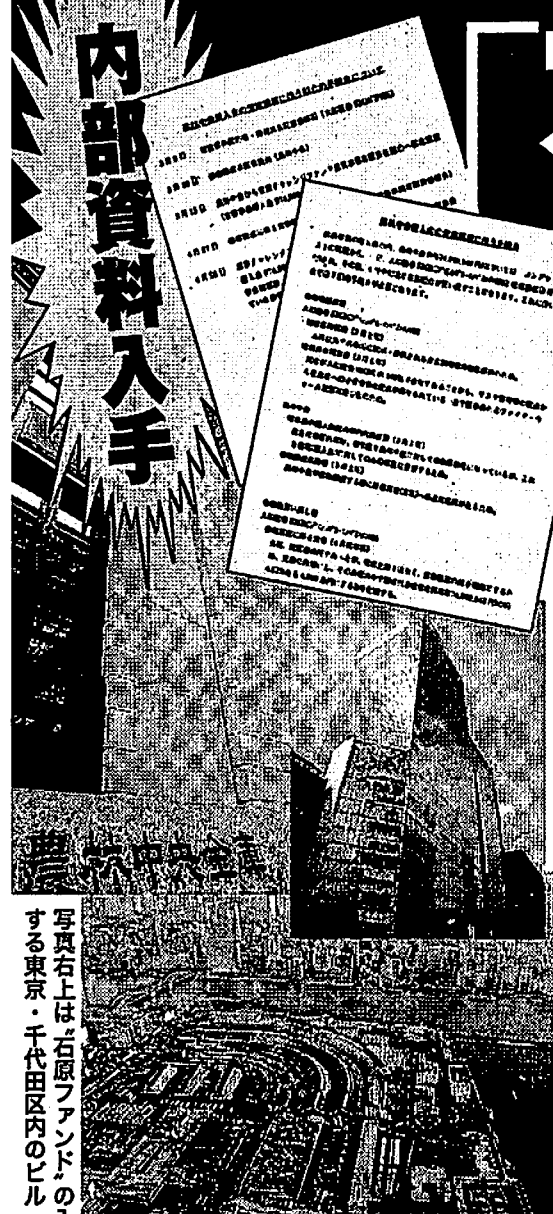


# 石原ファンド 帳消し疑

都の出資

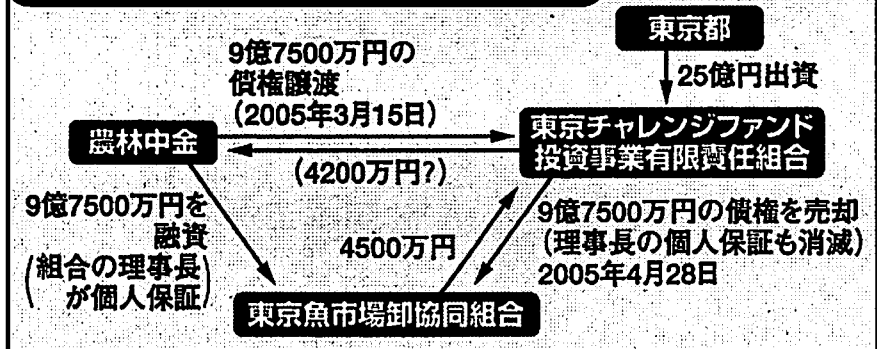
内部資料入手



写真右上は石原ファンドの入居する東京・千代田区内のビル

今も大揺れの築地市場

## 「石原ファンド」を巡る関連チャート図



## 「責任を取る気はありません」

くと「短期の収益目的は禁  
止だが、債権関係を調整す  
る必要がある時、バランス  
う……。」

シートをよくするために転  
売を行うことはある」と言  
う……。」

「東京都の支援も頂き、一  
件落着きました」  
と発言している。

さらに、不自然な点も明  
らかにされた。

また、同資料から東卸が  
第1号案件だったこともわ  
かった。都産業労働局によ  
れば、ファンドの投資は計  
13件で約30億円。ファンド  
の本来の目的を逸脱してい  
るようにもみえる。資料か  
らは、農中に4200万円  
を支払った形跡も伺えるが、  
どちらが損をかぶったかは  
分からない。

「都の支援」とは何のこと  
か。伊藤理事長に直撃した。  
「うちのほうから東京都に  
お願いして、チャレンジフ  
ァンドをご紹介いただいた。  
それでお世話になったとい  
うことです」

都から情報開示された資  
料によれば、農林中金の債  
権がファンドに譲渡された  
3日後の3月18日、ファン  
ドの契約事項の修正に関す  
る提案が行われ、投資対象  
が「その他中小企業団体の組  
織に関する法律に定める中  
小企業団体」が追加された。  
つまり、東卸のような組  
合にまで急ぎよ、投資範囲  
が広げられたのだ。

東卸では99年、反対派の  
理事長に代わって、移転費  
成に転じた伊藤理事長が就  
任した。東卸の理事経験者  
がこんな見方をする。

「借金帳消し」にな  
るスキームは、理事長の  
提案なのか。  
「私ではない。当時の組合  
の経理担当役員と、会計士  
でしょう」  
組合内では、どうい  
う議論をして合意したのか。  
「主として経理担当役員と  
会計士、私も含めて農林中  
金と接触し、その間の報告  
は、うちの理事会なり何な  
りにしながら進んだ」  
——ファンドの存在は？

「数多い反対派の抵抗に遭  
いながらも、伊藤氏は移転  
の方向に持っていつて成功  
しました。その功績に対し、  
東京都がファンドを使って、  
彼の窮地を助けたと見られ  
ても仕方がない。知事の側  
近らがいっている動き、こう

「東京都の支援も頂き、一  
件落着きました」  
と発言している。